

区政のことが聞きたい

第4回定例会 一般質問(要旨)

*詳しい内容は会議録をご覧ください。
第4回定例会の会議録は、作成次第、区議会事務局、議会情報コーナー、区立図書館、行政情報コーナーに備えます。また、区議会ホームページでもご覧いただけます。

区政一般に ついて

自民党豊島区議員
副島 健

問 19年4月の区長選挙に3選出馬の意思は。
区長 出馬を決意している。

問 地下鉄13号線について、①開業後のネットワークづくりの認識と取組みは②トンネル貫通記念ウォークを③仮称「雑司ヶ谷駅」の正式な駅名と出入口は④地下鉄利用者の駐輪対策は。
区長 ①認識を新たに施策展開②東京メトロと協議③雑司が谷で調整。4カ所④230台分を確保。

問 環状5の1号線について、①池袋駅前広場整備と活用は②地上部暫定道路の供用開始時期は③本格開始時期の目安とその間の道路形状と使用方法は④明治通りとグリーン大通りの接続は⑤共同溝対策は⑥地下道建設に伴う換気塔の問題は。
区長 ①池袋駅前広場整備と活用は②地上部暫定道路の供用開始時期は③本格開始時期の目安とその間の道路形状と使用方法は④明治通りとグリーン大通りの接続は⑤共同溝対策は⑥地下道建設に伴う換気塔の問題は。



環状5の1号線の整備は

区長 ①委員会で検討②平成19年春③東京都で確定後公表④接続で計画⑤一括収納するものを設置⑥東京都で総合的に検討。

豊島区の改革 現状とこれから について

民主区民
中田 兵衛

問 高野区政改革成果と現状について、①これまでの7年半の総括は②区長が目指す今後の豊島区「新たな挑戦の10年」とは。
区長 ①1期目は改革的に改革を実行しつつ新たなまちづくりの目標を描いた期間②価値あるまちづくりの進展を促すとともに、人と環境に優しい街としてのイメージを高めていく。スリムで変化に強い行政経営と持続可能な財政構造を確立していく。

問 いじめ問題を認識する仕組みと制度について、①いじめの調査基準及び発生件数は②今回改めて実施した実態調査とこれまで把握してきた事実との相違点は。また、今後の対策は③生きていくことの大切さを子どもたちにいかに教えていくのか。
教育長 ①文部科学省の基準に基づき調査。17年度3件②いじめを訴える子どもが多数いるのがわかった。今後は、子どもたちの様々な悩みや気持を把握するとともに、全体指導や個別指導を行っていく③生命尊重の授業を通して教えていく。

問 隣接校選択制について、①導入目的の達成度と総合的な評価は②生徒数減少校への対策は③教育の機会均等と特色ある教育は相反するのでは。
区長 ①18年度決算見込みと区の財政状況に対する認識は②19年度予算編成に対する基本的な姿勢は③子育て世代、高齢者への福祉施策にどう取り組んでいくのか。
区長 ①景気回復の影響で安定しつつある歳入環境に支えられ、18年度実質収支は黒字になる見込み②区民生活に直結した新規拡充事業に積極的に対応したい③重点的に予算を配分する。

問 汚職の防止について、①汚職事件抑止の手段は職員服務規程のみで十分と考えるのか②内部公益通報制度の創設と中立的な外部機関の設置の考えは③公的な地位にある者からの要望等の記録制度の創設の考えは。
区長 ①十分とは考えていない②19年第1回定例会に提出予定の法令遵守に関する条例案の中に盛り込む③他の自治体の事例も研究しながら、検討を深めていく。

問 汚職の防止について、①汚職事件抑止の手段は職員服務規程のみで十分と考えるのか②内部公益通報制度の創設と中立的な外部機関の設置の考えは③公的な地位にある者からの要望等の記録制度の創設の考えは。
区長 ①十分とは考えていない②19年第1回定例会に提出予定の法令遵守に関する条例案の中に盛り込む③他の自治体の事例も研究しながら、検討を深めていく。

教育長 ①特色ある教育活動に意欲的に取り組む学校が着実に増えているなど、隣接校選択制は定着してきている②未就学児保護者の学校行事等への招待、スクールスタッフの派遣などの取組みをさらに推進③両者は相反するものでなく、隣接校選択制の理念にある特色ある教育は学校教育を補完する関係にある。

問 汚職の防止について、①汚職事件抑止の手段は職員服務規程のみで十分と考えるのか②内部公益通報制度の創設と中立的な外部機関の設置の考えは③公的な地位にある者からの要望等の記録制度の創設の考えは。
区長 ①十分とは考えていない②19年第1回定例会に提出予定の法令遵守に関する条例案の中に盛り込む③他の自治体の事例も研究しながら、検討を深めていく。



隣接校選択制は...

問 暮らしをみたい街としま、目指して
公明党 木下 広

問 19年度予算編成について、

保健福祉部長 ①先行自治体の例等を踏まえ検討②地域包括支援センターの一層の周知を図る。

区長 ①秋葉原・神田等合計8地域を指定②無利子貸付制度等の金融支援を受けること等が可能③狭小敷地の統合や老朽ビルの建替え促進等が期待できる。

問 情報施策の一層の充実について、①誰もがホームページ等の情報を支障なく利用できるアクセシビリティの確保は、自治体の公共サービスにおける重要な課題。各部署をまたいだプロジェクトチームの発足等、今後の取組みは②庁内のIT基盤構築に向けた全庁的な取組みは③新庁舎のIT化に対する考えは。
政策経営部長 ①プロジェクトチームを立ち上げ、アクセシビリティ確保を図る②専門知識を持つ外部人材からの技術習得等を予定③システム導入に関する調査の実施等積極的に取り組む。

問 高齢社会の対応について、①日常生活上の困りごとの相談受付や対応を年中無休で行い、高齢者に安心感を与える「ちよつと困りごと支援サービス」に積極的に取り組むべき②総合相

問 今、子どもはたえず競争に追い立てられ、そのストレスのはけ口をいじめに求めることが少なくない。また、教育基本法の改悪は、いじめをはじめとした教育問題の解決になるどころか、より深刻化させるものと認識。(1)いじめを根絶するための基本的な見解として、子どもたちのストレスをどう取り除いていくのか(2)子どもと教師の触れ合う時間をふやし、一人一人を

談窓口への取組みを強く要望。

問 子ども医療費助成拡充への考えと、中学生までの医療費無料化実施における必要見込額は。
区長 通院医療費助成は、19年4月から小学6年生まで、10月から中学3年生まで拡充する考え。事業費は20年度の平年度べリスで約7億2千900万円。



子ども医療費助成の拡充は

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

大事にする30人以下学級を早急に導入すべき。せめて、「少人数モデル事業」の復活と拡大を(3)隣接校選択制によって学校や子どもを競わせることは、両者に余計なストレスを負わせるものであり、地域で子どもを見守り育てていくという理念にも反する。本制度は改めて見直すべき(4)学力テストの結果を公表し競争を激化させたり、結果がよい学校に配付予算をふやす等のやり方は絶対にすべきではない(5)学校施設整備について、①新築校と既存校における冷房設置の有無等は学校間格差の一つ。早急に改築計画を立て、順次進めていくべき②特別教室の冷房化は早急に実施すべき。

教育長 (1)コミュニケーションの方法等を保護者や教師が指導すること等が重要(2)学級集団の定数は現行のままとし、少人数モデル事業は学級補助員事業に統合した現在の方法を継続(3)保護者等の理解は定着しているものと認識。今後も柔軟に対応(4)校名や順位の公表はしない。予算配付の格差も考えていない(5)学校改築計画の案をつくりを進めている②大規模改修計画の中で検討。

問 住宅税増税や社会保障の改悪などで、区民の生活はますます深刻になっている。区税等の滞納者は多重債務に陥っていることも多く、今こそ多重債務問題解決に向けたシステムを構築することが必要。①まず、生活を再建し、自立を支援する立場でこの問題にあたるべき②多重債務の実情と解決方法について職員の理解を深めるべき③区として対策組織の立上げを④区は、行革プラン2004で応急小口資金等を廃止したが、困っている区民に手を差し伸べるのが区の本来の仕事。低所得者へ無利子で貸し付ける制度を創設せよ。

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

療等の医療機関を地図入りで紹介したパンフレットの配付を⑤子育て支援策の総合的なパンフレットを作成し、関係する施設等のすべての窓口におき、転入届等の際にも渡すようにしては。
助役 ①現在、解説書等の内容を精査している②あり方について検討中③通院医療費は19年4月から小学校6年生まで助成、10月からは入通院とも中学3年生まで助成予定④区医師会発行の冊子の活用を検討⑤関係各課と協議し、対応。

問 住宅税増税や社会保障の改悪などで、区民の生活はますます深刻になっている。区税等の滞納者は多重債務に陥っていることも多く、今こそ多重債務問題解決に向けたシステムを構築することが必要。①まず、生活を再建し、自立を支援する立場でこの問題にあたるべき②多重債務の実情と解決方法について職員の理解を深めるべき③区として対策組織の立上げを④区は、行革プラン2004で応急小口資金等を廃止したが、困っている区民に手を差し伸べるのが区の本来の仕事。低所得者へ無利子で貸し付ける制度を創設せよ。

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、



多重債務問題の解決は

新庁舎のあり方と 来街者増のための 一つの試案

無所属ネット
日野 克彰

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

問 新庁舎は、スペースを圧縮した効率的・コスト小の「コンパクトな庁舎」を目指すべき。機能は「事務所」に特化したものとし、区民の集会所等は盛り込むべきではない。もしその可否を区民に問う場合は、単に「集会所が必要か否か」と聞くのではなく、「約2千900万円できた区民ひろば朝日と同程度の広さを新庁舎で確保するには約9千300万円かかる。前者の金額で既存の区有地に建てるのと後者の金額で新庁舎内につくるのではどちらが豊島区にとって望ましいか」と聞くべき。
区長 災害時には、防災・災害復興の拠点として、平常時には、区民も利用できる会議室などの多目的スペースが必要と考える。
問 区の活性化には、来街者の増加が必要。そのポイントは、

最大の交通拠点である池袋駅の乗降客の増加にあると考える。池袋駅を「通過する駅」から「利用する駅」に変え、来街者・乗降客の一層の増加を図る施策を区として今後検討すべき。具体的には、駅や隣接の大型商業施設などと連携し、それらを一体的な「池袋ターミナル」と捉え、区民だけでなく鉄道沿線の他の自治体住民をもターゲットにした、他にはない利用機能や行政サービス提供機能を盛り込んでいくことを目標とすべき。



コンパクトな新庁舎を目指す

街の玄関である池袋駅の機能と魅力を向上させていくことは、大変重要と考える。提案された試案は大変興味深い。他の駅の事例を踏まえながら検討する。

いきいきと、そしてやさしい豊島区を実現するために

山口 菊子
社民党

17年度決算が黒字となった以上、ご協力いただいた区民の方々に還元する施策が必要と考えるが、いかがか。

新年度の予算編成では、限られた財源の中で、施策の重点化を図り区民の需要に応える。厚く、福祉にシフトを置くべきものと考えているが、いかがか。

財政再建を最優先としてきたが、歳入も改善の見通しが見られるため、福祉施策の充実に取り組み。



虐待高齢者のケアは

虐待された高齢者の心身回復のためのケアには緊急避難できるシェルターのような場所が必要だと思いが、いかがか。

税金の無駄遣い。附属機関の議員報酬に15%削減

行革一〇番
五十嵐みのる

従来より、議員が区長の附属機関の委員として出席すると最低日額報酬1万3千700円が支給される。しかし、議員がこれを受領することは議員報酬の二重取りである。当該対価は月ごとに支給される議員報酬の内に既に含まれているからである。平成18年10月24日の本会議で、新たな附属機関の設置に関わる「豊島区自治推進委員会条例」が可決された。これに反対したのは行革一〇番のみ。反対理由は税金の無駄遣い(自治推進委員会の構成に議員4名枠。対価報酬1万3千700円の規定がある)。

①条例提出前に議会と話し合ったのか②廃止案を提出する考えはあるか。

①事前の話合いはない②廃止の必要はないと認識。



附属機関の議員報酬のあり方は

としまの教育 教科書の採択

自民党豊島区議員
本橋 弘隆

歴史教科書採択について、①日本の歴史について、それを子供達へどう伝えたいか②歴史教育を通じて、どのような日本人を育てたいのか。また、そのための歴史教科書とは③採択の際、支持する教科書名とその理由を明言していない理由は④東京書籍の教科書を支持した理由は。また、2番目以降の支持教科書名と支持理由は。

①日本は、他国文化を取り入れ、日本文化を創出し、他国との競争を経験している。戦争をなくし、平和な世界をつくらせていく大切さを伝え、他民族の文化や生活に関心を持たせ、尊重する態度を養う②社会の一員としての自覚に立ち、国際社会に生きる日本人を育てる。教科書は、生徒の主体的な学習が展開できる内容であるべき③審議の中で、他の教育委員を追随させてはいけないことに配慮したため④豊島区の生徒にふさわしい教科書と見え、第2、第3の教科書は何かといった考え方はしていない。



教科書の採択は...

区民とともにある 区政のために

民主区民
永野 裕子

予防型行政の推進について、①長期的視野に立った先取り施策による低コストな行政運営を②いじめ自殺予防問題の教訓と自殺予防に対する区の考えは③相談業務の利便性の向上と体制の強化を。

①明確な戦略のもと、責任ある経営を進める②重要な課題と認識し、自殺対策基本法の理念に沿って積極的に取り組む。③慎重な取扱いが必要。学校の対応に加え、カウンセラーや医師等による対応も重要。④窓口の統合等を推進し、業務の役割を見直す。⑤区民への説明責任の果たし方と意見聴取のあり方について、⑥説明会やパブリックコメントが形骸化していないか⑦新庁舎建設の説明会の開催手法に問題はないか⑧家庭ごみ有料化モデル実施の説明は、理解と協力を得るには不十分だったのでは。⑨手法を充実させる⑩多くの意見を取り入れる。

のある事業展開は③医療廃棄物の適正処理について、④小規模診療所の処理は⑤医師会との連携は⑥在宅医療廃棄物の処理は⑦環境部会で検討中⑧アンケート結果は好評継続⑨地域の協力を得る⑩パンフレットで周知⑪強化する⑫注射回収事業を支援。



池袋駅と駅周辺整備は

誰もが安心して暮らせる 笑顔あふれる 豊島をめざして

公明党
高橋佳代子

教育について、①いじめの大切さを伝える心の教育を②いじめ根絶のための校内委員会の設置を③電話相談の拡充を④小学校のカウンセラーの拡充を⑤「子どもの笑顔ふやそう」キ

キャンペーンの成果は⑥教師がカウンセリングの手法を身につけるべき⑦学級経営困難への補助員対応を⑧不登校対策は。⑨教育長 ①充実が不可欠②既存組織を活用し、校内委員会として対策を進めていくよう指導する③実施する④検討する⑤学校現場で活用⑥教師力の向上に努める⑦補助員を派遣する⑧かわりを積極的に進める。

子育て支援について、①妊産婦健診の助成拡充を②情報窓口の一本化を③ガイドブックの発行を④育児用具のリサイクル体制を⑤相談事業への取組みを。⑥前向きに検討。⑦集約化を目指す⑧発行する⑨19年4月に実施する⑩窓口対応の充実を図る。⑪介護保険について、⑫特定高齢者の把握と介護予防への参加は⑬包括支援センターの活動状況は⑭ケアマネジャーの資質向上への取組みは⑮地域ケア体制の整備は⑯不正請求の状況は⑰不正により保険料が上がらないようにすべきでは。



障害者の支援は

障害者雇用について、①相談業務・通所業務・地域就労支援ネットワーク事業の実情と成果は②就労支援のための努力は③工賃アップのしかけづくりは④就労支援策と今後の取組みは⑤一定の就労を実現。今

後も一般就労を促進⑥区立公園の清掃を20カ所拡大し、経費も18年度の3倍以上に増額⑦空き店舗を利用して新規事業を実施⑧就労支援ネットワークを強化。⑨防災対策について、⑩今後の救援センターの確保は⑪旧高田小を今後も救援センターに。⑫新しい建物の活用等、柔軟に対応⑬積極的に検討する。

豊島区が目指す都市の将来像について、①街の将来像の整理の必要は②将来像の実現に取り組む意気込みは③マスタープランの見直しが必要では。④マスタープランを引き続き目標とする⑤地域と協力し取り組む⑥必要に応じて見直す。⑦災害対策として、⑧「復興街づくり条例」を検討すべき。⑨都市整備部長 検討を進める。⑩街づくりを見据えた放置自転車対策の実践について、⑪駐車場整備目標の実現性と効果は⑫財政負担は⑬歩道上の駐輪場整備は⑭自転車走行空間の整備はどのように進めていくのか。



まちづくりを見据えた放置自転車対策は

①22年度末に9割を達成②19億円程度③道路デザインに組み込む④沿道状況に配慮。⑤地域の安全安心街づくり策

について、①パトロールを充実すべき②都の防犯ネットワークモデル事業を活用しては。③積極的に参加を申し出る。④ものづくり見本市の開催は。⑤文化商工部長 開催に取り組む。⑥教育の抱えている諸課題について、⑦文部科学省調査のいじめの定義と17年度の本区の発生件数は⑧アンケート調査でのいじめの実態と対応は⑨自殺予防事件の教訓と今後の対応は⑩区は、いじめを無くし、子どもの心の教育にどう取り組むのか。

①本調査では、②身体的・心理的攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じている等と定義。小学校0件、中学校3件③訴えが多数。全校体制で取り組んでいる④心の教育が必要。早期発見が肝要。⑤いじめが発生しない土壌づくりに努める。⑥新教育ビジョンの策定について、⑦進捗状況は⑧保護者意識意向調査の反映とその目指す子ども像は⑨教師、学校、地域の理想像と基本的考え方は。⑩構成と内容を検討中。⑪教育ビジョンに国語力の育成等を盛り込む。子ども像は「夢に向かって未来を切り拓く」としまの子」とした⑬それぞれの理想像について検討中。

①家庭教育の向上について、②親育てや親の心のケアは。③長 ①検討組織を設ける②支援に努める。④課題のある保護者への対策が必要⑤相談を充実する。⑥基礎学力の向上策について、⑦都の学力調査の分析と学校・子どもたちの将来への方向性は⑧補習等による土曜日の活用は⑨小学校5年は都平均を上回り、中学2年は3教科で若干下回った。基本的な知識等の定着が必要⑩19年度、中学1、2年の補習指導を3学期に実施。